



医薬品情報学講座 特任助教

柳澤 友希

ヤナギサワ ユキ

博士 (薬学)

Project Associate Professor
Division of Drug Informatics

YANAGISAWA Yuki

Ph.D. in Pharmacy

臨床薬学 / 医療薬学

clinical pharmacy / Pharmaceutical care sciences

研究概要

臨床の現場では、医療の進展、患者の多様化する治療価値観への対応など、時代の変化に応じて日々多くの問題が発生します。このような臨床課題に対し、自然言語処理技術や医療ビッグデータを用いたデータ解析を通じて、幅広いアプローチで研究を行っています。

1. 自然言語処理技術の臨床応用を目指した研究
薬局薬剤師が作成した医療記録（以下、薬歴）は、様々な薬物治療に関する情報が膨大なフリーテキストで記述されます。そのため自然言語処理技術を用いて、薬歴のテキスト情報から、患者が薬局薬剤師に表出した有害事象や困りごと、薬剤師による薬学的ケアの抽出を行います。抽出された情報を通じて、患者が抱える潜在的な課題を明らかにしたり、薬剤師の介入によって患者アウトカムにどのような影響を及ぼしているかを明らかにすることを目的としています。

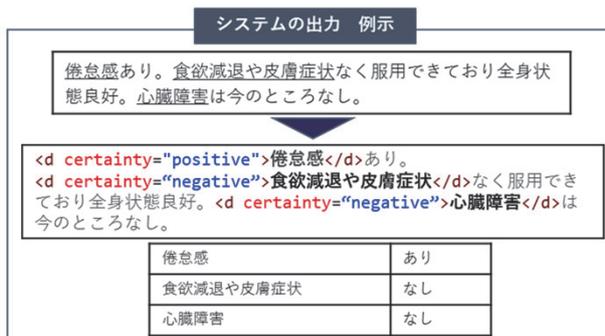
2. 医療ビッグデータを用いた研究
診療を通じて蓄積された医療ビッグデータを用いた臨床薬学研究を通じて、薬物療法における課題解決を目指しています。特に、安全な薬物療法のために推奨されている検査の実施や、実臨床ではマイノリティな症例の薬物療法の知見を得ることを指しています。例えば、稀な症例（小児患者やハイリスク妊婦等）は医療ビッグデータを活用して、処方実態や副作用のリスク予測を行うことで個別化医療の実現に寄与することが可能です。

In clinical practice, numerous issues arise daily due to advancements in medical care and the need to accommodate patients' diverse treatment values, reflecting the evolving times. To address these clinical challenges, I adopt a broad approach, relying on clinical experience and employing data analysis through natural language processing techniques and medical big data.

主な論文

1. Yanagisawa Y, et al. [Evaluation of Patient Outcomes after Pharmacological Intervention in Home Health Care Utilizing Pharmaceutical Care Records]. YAKUGAKU ZASSHI. 2024;144(8):839-845.
2. Yanagisawa Y, et al. A cross-sectional survey of hepatitis B virus screening in patients who received immunosuppressive therapy for rheumatoid arthritis in Japan. J Pharm Health Care Sci. 2024 Apr 18;10(1):18.

自然言語処理システム



* システム : <https://huggingface.co/sociocom/MedNER-CR-JA>

(Y. Yanagisawa, et al. 第34回日本医療薬学会年会発表資料より引用, 一部改変)

対象薬剤を処方された患者の薬歴から
薬剤に特徴的な症状に関連する記述が抽出される

